

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

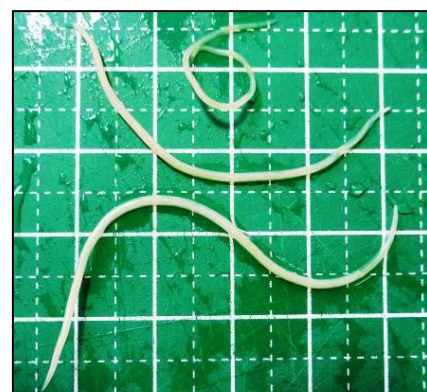
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

## 鶏回虫症に注意しましょう。

鶏回虫は、平飼飼養の採卵鶏農場を中心に日齢を問わず寄生がみられます。鶏は寄生により衰弱・削瘦しやすく、産卵率の低下や死亡率の上昇にもつながります。そして、鶏回虫は迷入し、まれに鶏卵中から確認されることがあり、特に注意が必要な病気です。

- 原因：鶏回虫 (*Ascaridia galli*)。
- 症状：下痢や粘液のある便の排泄。羽毛の汚れ。貧血。発育不良。削瘦。産卵率低下など。
- 特徴：
  - ・虫卵が口から体内に入ることによって感染します。
  - ・1～3か月齢のヒナが最も感染しやすいです。
  - ・鶏の腸内で成虫になり、虫卵を生み、糞に混じって敷料や土壤に排泄され拡散します。虫卵は土壤中で長期間生存可能です。
  - ・成虫の体長は雄3～8cm、雌6～12cm。
  - ・少数寄生では特別な症状を示さないが、多数感染することで症状が現れやすいです。
  - ・採卵鶏では、鶏卵中に鶏回虫が迷入することがあります。
  - ・糞便からの虫卵の検出や、感染鶏の腸内から虫体を検出することにより診断します。
- 対策：定期的に敷料などを全て除去し、洗浄・乾燥・消毒を適切に行います。除去した敷料は発酵熱を利用した消毒を行います。なお、駆虫薬は採卵鶏には使用禁止です。



腸管から摘出した鶏回虫

- 特に平飼・採卵鶏農場では、鶏の体内で増えた病原体が、敷料を介して蔓延しやすいので、普段の敷料の交換・消毒などの対策が重要です。
- 敷料の適切な処置は、他の様々な病気の対策にも繋がります。

気になる点や不明な点がありましたら所轄の家畜保健衛生所にご相談下さい。